

オープンアクセスによって広がる 教育・研究の可能性

2022 3.10（木）
10:30 - 12:00

開催方法 Zoomミーティング（オンライン）

対象 本学構成員・大学図書館関係者

定員 300名（申込先着順） 参加費 無料

申込締切：2022 3.9（水） 17:00

締切までに、下記フォームより必要事項を入力してお申し込みください。折り返し参加URLをお知らせします。

申込フォーム：

<https://forms.gle/GQquUK8YjnhZNvKv9>



オープンアクセスによって広がる 教育・研究の可能性

2022 **3.10** (木)
10:30 - 12:00

概要

京都大学図書館機構は、京都大学学術情報リポジトリ（KURENAI）による研究成果の公開と、京都大学貴重資料デジタルアーカイブによる古典籍資料の電子化・公開を2つの大きな柱としてオープンアクセス推進事業を進めてきました。近年は研究データへの対応を進めています。KURENAIやデジタルアーカイブが、収録コンテンツの拡大に伴い教育や研究に活用される事例が増えています。

本報告会では、「オープンアクセスによって広がる教育・研究の可能性」と題し、本事業の意義と成果を報告するとともに、教育・研究におけるKURENAIやデジタルアーカイブの利活用について研究者の視点から紹介します。

様々な事例報告を通じ、オープンアクセスが教育や研究活動にもたらす可能性について、研究者と図書館関係者がともに考える機会にしたいと思います。

プログラム

-
- 10:30 開会挨拶（引原 隆士 図書館機構長）
- 10:35 第一部 オープンアクセス推進事業の意義と成果
オープンアクセス推進プロジェクト
- 11:00 第二部 オープンアクセスによって広がる教育・研究の可能性
- 1 KURENAIからの教材の発信，その背景と課題：
「プログラミング演習Python 2019, 2021」を例に
国際高等教育院/学術情報メディアセンター 喜多 一 教授
 - 2 人社系紀要のオープンサイテーションの試み：
「京都大学大学院教育学研究科紀要」「人文學報」（※録画配信）
附属図書館研究開発室 西岡 千文 助教
 - 3 図画像デジタルアーカイブ公開におけるIIIFの衝撃
— ハーヴァード・イェンチン図書館、スタンフォード大学フーヴァー研究所との試みから
東南アジア地域研究研究所 貴志 俊彦 教授
 - 4 研究データへのDOI付与：
KURENAIをランディングページとしてデータ使用状況を把握する（※録画配信）
大学院理学研究科附属地磁気世界資料解析センター 今城 峻 助教
- 11:40 ミニ座談会 オープンアクセスからオープンサイエンスへ
ファシリテータ：附属図書館研究開発室 北村 由美 准教授
- 11:55 閉会挨拶（松井 啓之 図書館機構副機構長）
- 12:00 閉会
-